



第62号

ぽっかぽか

函南病院新設部



新しい年度にあたって

理事長 久直史

時の流れは速いもので、また新しい年度を迎えることになりました。函南病院も今期で57年目を迎えます。先代理事長が太平洋戦争後、入明町に焼け残った住宅を改造して診療所を開設した時から数えると77周年ということになります。この間、「暖かさのある」医療を提供することで地域医療の一端を担ってきました。

ここ数年を振り返るとやはりCOVID-19に振り回された期間ではありました。今から考えると「コロナ騒動」と呼んでもいいかもしれません。昨年度は5月から新型コロナウイルスが5類感染症に移行となりましたが、COVID-19感染症自体が無くなったわけではなく、当院でも再度対応を迫られることになりました。

日本は今高齢化、少子化の荒波に晒されており、高知県はその先頭グループを走っています。こうした時代の変化や来ることだけは決まっている南海トラフ地震等に備えて新しい時代に対応をしなければなりません。

つまりこれまでの常識や慣習から抜け出すことが求められます。「脱コロナ」もそのうちの一つですが、単に「新型コロナウイルス」という感染症騒ぎから脱するだけでなく、これまで医療の現場に残っていた慣れや悪習からも脱することが求められます。例えば「ハラスメント」。医療に限ったことではありませんが、「指導」と「ハラスメント」との境界はなかなか微妙なところがあります。私のような年代からするとすべて悪いといわれることには少し抵抗があります。ただ、求められているのは「指導する側の論理」ではなく「指導を受ける側の立場」に立ってみようということだと思います。

当院の歴史を考えてみても57年という時間はかなり長いです。技術的な進歩は置くにしても、当時は普通だったことが今の基準ではNGとなってしまうことは沢山あります。では、昔の医療は患者さんの方を向いていなかったのでしょうか？そんなことはないはずだと思います。私も子供の頃夜中に往診に出か

けてゆく父の背中を見て育ちました。医療の根源的な思いが時の流れで変わってしまう訳はないはずですよ。

毎年4月の新人オリエンテーションの際、新しい職員に話してきたことは「よくも悪くも人生のうちで多くの時間を費やす医療との関わりを楽しく働ける職場にしたい」ということです。「楽しく働く」というのは単に職員同士仲が良いというだけでは実現できません。やっている仕事の中身が伴わなければ誇りを持って働くことはできません。もう一つは「人は次の世代へと変わってゆくけれど、継承されてゆく組織の文化を作ろう」ということです。ここ数年動続〇十年といった病院の主のような職員の退職が続きまして。でも一人の人間が頑張れるのは40〜50年程度です。バトンタッチの中で引き継がれる文化は100年〜200年へと続きます。

医療の根源にある暖かさの感じられる病院・そういう組織にしたいと願っています。

● 病院理念

1. 私たちは地域にとってよりよい医療・介護を目指し努力を続けます。
2. 患者様に信頼される技術と暖かいホスピタリティを提供できることが私たちの目標です。
3. 私たちは医療人として楽しく働ける職場作りを目指します。

頭痛外来開設のご案内



脳神経内科 医師
沖 良祐

頭痛は367種類

外来受診される患者さんの訴えの中で、頭痛は非常に頻度の高い症状です。頭痛にはさまざまなタイプがあり、現在使用されている国際頭痛分類（ICHD-3）では、367種類に分類されています。頭痛診療において、正しく診断をすることが最も重要であり、正しい診断が早期の頭痛の改善につながります。

一次性頭痛と二次性頭痛

頭痛診療においてもっとも大切なことは一次性頭痛（命に関わらない）と二次性頭痛（命に関わる場合がある）をしっかりと鑑別することです。二次性頭痛にはくも膜下出血などの脳卒中、脳腫瘍、髄膜炎などが含まれ、速やかに診断をして適切な処置を行わないと重篤な経過をたどる可能性があります。このため、頭痛診療においては常に二次性頭痛の徴候がないかを念頭に置いて診療を行っています。

頭痛診療に役立つ頭部MRI

くも膜下出血を含む二次性頭痛を診断するためにはいろいろな検査が行われますが、中でも頭部MRIは

CGRP関連片頭痛予防治療薬の登場による片頭痛治療のパラダイムシフト

診断において重要です。問診や診察所見だけでは一次性頭痛と二次性頭痛の鑑別が難しいケースもあるため、頭痛について初めてご相談にいられた患者さんには頭部MRI撮像をお勧めしています。また、MRI撮像における副次的な効果として、一次性頭痛の患者さんでも頭部MRIで異常がないことがわかると、心理的な安心につながり、頭痛が生じたときの不安等が軽減される場合があります。

頭痛の中で患者数No.1の片頭痛

日本における一次性頭痛患者は4000万人、そのうち片頭痛患者は840万人といわれ、片頭痛は頭痛のうちの患者数No.1です。片頭痛は一次性頭痛から「命に関わらない」疾患であるものの、あらゆる疾患の中で生活への負担が2番目に大きい疾患であるといわれています（第1位は腰痛）。片頭痛は「頭痛だけ」の疾患ではなく、頭痛がないときにもうつ症状、不安、認識力の低下、過敏性などの症状を伴うことがあります。その結果、労働生産性が低下し、日本では片頭痛によって年間3600億円〜2兆3000億円の経済的損失が発生しているといわれています。

頭痛専門外来の役割

頭痛専門外来の役割は、①頭痛の診断を正しくつけること、②主に片頭痛治療において最新の治療に関する

情報提供を行うこと、③個々の事情にあわせた治療法を患者さんともにも選択すること、の3つです。頭痛は学童期〜老年期まで対象となる年代が幅広い疾患であり、年代に応じて頭痛の特徴や使用可能な治療薬に違いがあります。当院では脳疾患を専門領域とする神経内科専門医が頭痛専門外来で治療にあたります。頭痛でお悩みの方は是非お気軽にご相談ください。

頭痛専門外来

担当医／沖 良祐（神経内科専門医）

(2024年4月現在)

診察日程	月	火	水	木	金	土
午前 (09:00~12:30)	再診	-	-	-	-	奇数週再診
午後 (13:30~17:00)	-	再診	-	初診再診	再診	-

※初診の場合は事前にご連絡をお願いします。
木曜日のご都合がつかない場合は個別に相談可能です。



病棟紹介

緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は、主に治療困難な悪性腫瘍の患者さんが入院され、症状の緩和や退院に向けての準備、または看取りの場として使っていただく病棟となっております。あたたかい病棟の雰囲気は、お家にいる環境に近く、全室個室を完備しプライベートが守られる作りになっています。痛みや呼吸のしんどさ、吐き気、身の置き所のなさなどの身体症状をはじめ、心のつらさや自分で自分のことができなくなるもどかしさ、家族や大切な人との別れの悲嘆などのスピリチュアルな痛みにも寄り添い、患者さんご本人だけでなく、ご家族のケアにも力を入れています。

患者さん一人ひとりが、希望されることはそれぞれです。「ペットに会いたい」「ビールが飲みたい」「カラオケがしたい」「子供と着物を着て写真を撮りたい」「髪の毛をピンクにしたい」その一つひとつの小さな願いを「どうしたら実現できるか」をスタッフは考え、寄り添うことで、患者さんがその人らしく生きることにつながっていくのだと、日々感じています。



ご意見箱に入っていたご家族の声です。

「今年は、クリスマスを迎えられるとは思っていませんでしたから20日の日はとてもうれしく、楽しく、幸せな時間を過ごさせてもらいました。ありがとうございました。 (中略) 今までの人生の中で、このような二人だけの時間は過ぎたことはなく、残り少ない時間を夫の為にだけに使える日々は何事にも代え難い幸せです。」

このようなメッセージをいただき、患者さん、ご家族が過ごす1日1日を大切にしていきたいと思えました。

緩和ケア地域勉強会

「EOLE(エンドオブライフ)にあるAYAがん患者と家族を支えるケアについて」

緩和ケア病棟師長 岡本 容子

3月16日(土)、高知大学医学部附属病院 がん治療センター/がんゲノム医療センターのがん看護専門看護師の弘末美佐さんを講師にお招きし、緩和ケア地域勉強会を開催しました。

AYA世代とは、Adolescent and Young Adult Cancer (思春期〜若年世代) 19歳〜39歳の世代を指し、この世代では学校生活、就職、結婚や出産、子育てなどの様々なライフイベントを迎える時期にあり患者さん一人ひとりのニーズに合わせた支援が必要となってきます。失われていく自律性へのスピリチュアルペインや、病

気そのものや死への受容が困難であったり、残されたお子様への家族ケアなど、当病棟でも多くの課題を抱えており、このテーマを日頃地域連携でお世話になっている医療従事者の皆さまと共に学習することになりました。勉強会は42名のご参加をいただき、具体的なおコミュニケーションの手段や、当病棟に転院した事例紹介や家族の対応など、大変参考になる学びがありました。今後の看護に活かせるよう、チームで共有したいと思えます。



地域連携室 後方支援の業務内容

退院支援看護師 河崎 千代

退院支援の主な役割は、転院相談や退院調整で他の病院や施設、訪問看護ステーションや在宅支援事業所のケアマネージャー等地域で患者さんの生活を支える方達と連携を取り、退院後のより良い療養環境に向けての支援を行うことです。その時に患者さんの情報をお伝えする為に病棟看護師に看護サマリーの至急作成をお願いする事もあります。

私達の業務を紹介します。

1、入退院支援計画書

退院支援が必要な患者さんに作成し、患者さんやご家族に説明を行いケアマネージャーや訪問看護師等と連携していきます。

2、自宅訪問

理学療法士や作業療法士と共に患者さんの自宅へ訪問をして、手すりを付ける位置の確認や段差解消・移動補助具の選定などを行います。実施内容は「退院前訪問指

導依頼書」としてカルテに記録します。

3、退院前カンファレンス

医師や病棟看護師、リハビリスタッフなどが参加して、患者さんご家族、在宅支援の訪問看護師やケアマネージャー、又は施設スタッフに当院に来て頂き、退院前カンファレンスを行います。

4、介護保険の申請

介護保険を新規申請する方や、期限が切れそうになっており更新申請が必要な方は、患者さん又はご家族に説明し申請の手続きを進めます。主治医の許可を得て代理で申請を行う事もあります。

5、ケアマネージャーさんとの連携

入院時には担当ケアマネージャーに連絡して在宅サービスの情報をお知らせして頂きます。入院中は患者さんの状態を在宅

担当のケアマネージャーに伝え退院に向けて準備を相談していきます。退院前にケアマネージャーが来院し患者さんと面会し在宅のサービスについて相談する時に対応します。この内容は「介護支援連携指導書」に記録します。

6、院内カンファレンスへの参加

外科カンファレンス、内科カンファレンス、緩和ケア病棟カンファレンス、入所転棟判定会、新規入院カンファレンスに参加しています。

7、院外研修への参加

高知県地域医療連携ネットワーク会は年4回ありZOOM会議に参加をしています。先月は滋賀県にある西山医院の西山順博先生の「滋賀県大津京におけるACPの現状と、絵本 サイ五郎さんちの人生会議のご紹介」でした。カードを使い自分と家族について好きな食べ物、好きな場所等の質問に

答えていきながら人生の最期について自分や家族の思いを共有していく方法を紹介されていました。1時間の講義でしたがとても興味深く思いました。

8、退院時の対応

自宅や施設への退院時移動方法を確認し、必要であれば介護タクシーを依頼します。業者さんによって費用や対応が異なるため、なるべく患者さんの負担にならない所に依頼する様にしています。

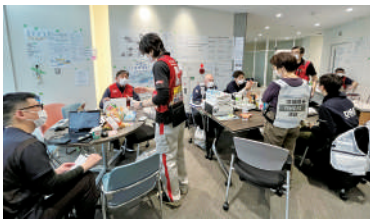
退院支援看護師としてはまだ2年生にもなっていないので、院内の多くの方達にご指導いただき仕事をしています。眼鏡のふとっちょ「ちれんのおちよ」を見かけたら気軽に声をかけて下さい。宜しくお願いいたします。



能登半島地震における 関南病院DMATの活動報告

事務部長 久 昌博

2024年1月1日に発生した能登半島地震における被災地支援に、関南病院のDMAT隊(医師1名、看護師2名、業務調整員2名)が能登町に派遣されました。活動期間は1月25日から28日の4日間で、能登町保健医療福祉調整本部での本部業務を行いました。当院が能登町に到着した時点では病院への診療支援は終了しており、本部業務と介護施設への支援業務が行われている状況でした。本部業務は、本部長の指揮下での記録業務が中心で、能登町で活動中のDMATの状況、介護施設・DMAT以外の支援チームの状況等



被災現場の直接の支援業務には携われませんが、日々変わっていく状況を記録し報告する事も大切な業務です。今回の活動を生かして、今後もDMAT隊員としてのスキルアップを図っていきたく考えています。



を時系列で記録していきます。また、朝と夜の全体ミーティングの内容についても記録し、Googleドライブにアップロードする事で石川県DMAT調整本部と情報共有していきます。

「久会アスリートクラブ」 活動開始!!

事務部病院改善課
坂井 由香

2023年10月、久会グループである久病院、関南病院の両病院から、「気持ちちはアスリート」の精鋭が集合し「久会アスリートクラブ」を発足しました。最初の目標は、やはり高知県民としては外せない高知龍馬マラソン。運よく今年からリレー形式のハーフマラソン部門も開始となり、参加へのハードルも幾分下がったため8名もの参加が叶いました。

マラソンまでに2回ほどの合同練習を行って結束を固め、当日はたすきリレーの時や、折り返しのコースですれ違う時に声を掛けて励まし合い、無事完走となりました。仲間と共に目指す大会はいつも以上に



楽しく、「気持ちちはアスリート」から「体も心もアスリート」になるべく体を鍛えるぞっ!と気持ちを新たに活動開始となりました。この気持ちが三日坊主で終わりませんように...

久会アスリートクラブではメンバーを大募集中です。参加をご希望の方は、写真のメンバーまでお気軽にお声がけください。

大野さんちのえまちゃん

Uchinoko Jiman



名前: えま
種類: トイプードル
年齢: 1歳8ヶ月
性別: 女の子

誕生日: 七夕生まれ
性格: 天真爛漫
好きなこと: ポール遊び

色んなところにいっぱい
いこうね。長生きしてね。

関南病院 インフォメーション 外来診察日程

内科						
	月	火	水	木	金	土
午前	増田 沖	上田	小笠原	上田	越智	沖 (第1,3週)
午後	上田	沖	坪井	沖 水田	沖	

整形外科						
	月	火	水	木	金	土
午前	藤田	溝淵	吉本	吉本		
午後	吉本	藤田		(手術)	藤田	

外科						
	月	火	水	木	金	土
午前	高野	久(晃)	久(晃)	久(明) 小河	高野	担当医
午後	久(明)	小河	高野	久(晃)	小河	

創傷ケアセンター						
	月	火	水	木	金	土
午前						
午後		津野(巻爪)		久(晃) 津野		

泌尿器科						
	月	火	水	木	金	土
午前						
午後	小林					

放射線科						
	月	火	水	木	金	土
午前	久(直)	久(直)	久(直)	久(直)	久(直)	
午後						

麻酔科(ペインクリニック)						
	月	火	水	木	金	土
午前						
午後					神原 (心療ペイン)	

内視鏡検査						
	月	火	水	木	金	土
午前	久(晃)	横田	小笠原	久(晃)	越智	
午後	増田	横田			久(晃)	

緩和ケア内科						
	月	火	水	木	金	土
午前	神原	久(明)	神原		久(明)	
午後	高野 神原		神原 小河		神原	

- ◆内科・整形外科・創傷ケア・緩和ケア内科・ペインクリニック・泌尿器科は予約制です。電話予約もお受け致します。
- ◆ご予約に関するお電話での受付時間は、午前は8:30~12:00、午後は1:30~5:00となります。(12:30~1:30は予約の変更等の受付はできません)
- ◆初診の方は、問診や検査等に時間を要しますので、午前は11:00まで、午後は3:00までにご来院くださいますようお願い致します。
- ◆水曜日の外科外来は、手術のため変更になる場合があります。
- ◆土曜日の担当医は、毎週変わります。詳しくはホームページの土曜日診療日程表をご確認ください。



◀ホームページ(外来診療日程)はコチラから

診療時間		
	午前	午後
平日	8時30分~12時	1時30分~4時30分
土曜	8時30分~12時	休診
日曜 祭日	休診 但し、急患は随時受け付けます。	

緩和ケア

がん患者さんの、心と体の苦痛を緩和するための治療に取り組んでいます。緩和ケア外来、訪問診療、緩和ケア病棟、訪問看護ステーションにて支援いたします。まずはお電話にてご相談ください。

各種健診

自治体の各種健診を実施しています。特定健診、高知市大腸がん検診および大腸精密検査、市町村胃内視鏡検診、高知市肝炎ウイルス検査、高知県風しん抗体検査をお受けしています。

創傷ケアセンター

糖尿病性足潰瘍、血行障害や骨の変形が原因で起こる潰瘍など、慢性創傷に対して専門的訓練を受けた医師が治療を行います。予約制での診療となっております。



人間ドック

当院では、日帰り人間ドックとして、がんドック、脳ドック、その他オーダーメイドコースをご用意しています。皆様の健康管理にぜひご利用ください。

発行
特定医療法人久会 関南病院
〒781-0806 高知市知寄町1丁目5-15
TEL 088-882-3126

編集 関南病院新聞部 編集長 高野 篤

MAP

関南病院